

アジアビジネスとグローバル組織・人材戦略の立案

金 美徳 経営情報学部 教授、大学院ビジネススクール(MBA) 教授
多摩大学教員サイト URL

<http://www.tama.ac.jp/guide/teacher/kim-m.html>

キーワード

アジア戦略、インバウンド、グローバル組織・人材

概要

本研究室では、インバウンド(外国人観光客)戦略、日本企業のグローバル戦略、アジア・新興国ビジネスモデル、グローバルビジネス、グローバル人材育成と企業文化の変革を研究している。

とりわけ日本企業がローカル(地域性)を活かしながらグローバル(全世界的)に展開するアジアビジネス、海外のヒト・モノ・カネ・情報を日本に受け入れるインバウンドビジネス、いわゆる「グローバルビジネス」の理論的枠組みの確立に臨んでいる。「グローバルビジネス」は、科学研究費助成事業に採択され、テーマは「中小企業によるグローバルビジネスのマネジメント手法に関する実証研究」である。

また、「グローバル人材育成」は、文科省・大学の世界展開力強化事業委員会・キャンパスアジア事業(岡山大・中国吉林大・韓国成均館大が採択された「東アジアの共通善を実現する深い教養に裏打ちされた中核的人材育成プログラム」)推進メンバーおよびキャンパスアジア共通教科書編纂委員会・副委員長として、日中韓経済学教科書の編集・制作やアジア・グローバル人材の育成を行った。

日本は、すでに対アジア貿易が総貿易の50%、対アジア・ユーラシア貿易は74%にも達する。一方、インバウンドビジネスも、2017年2,900万人訪日・4.4兆円消費、2020年目標4千万人訪日・8兆円消費、2030年同6千万人訪日・15兆円消費と市場規模が急拡大している。また、観光業などサービス分野のみならず、製造業にも大きな影響を与えており、地方創生や日本経済の牽引役として期待されている。

産学連携事業では、世界潮流やアジアダイナミズムを俯瞰して時代を正しく認識し、経営環境を客観的に把握するための政治・経済情報を提供する。また、日本企業の経営課題を企業文化の変革、グローバル人材育成(採用・育成・登用)、アジア戦略(ヒト・モノ・カネ・情報の売り込みと取り込み)、インバウンド戦略、アジア・新興国ビジネスモデルなどの観点からその解決策を一緒に考える。さらに、世界潮流、時代認識、新しいアジア、インバウンドなどをキーワードにした商品・製品開発や新規事業をご提案

利用・用途

応用分野

- ①インバウンドに対応するためのマーケティング、商品・製品開発、新規事業、経営戦略、社員研修、企業文化の変革などについて共同調査やご提案をする。
- ②アジア・新興国市場での販路や生産拠点の開拓に向けた情報収集・分析やネットワーク構築のための共同調査やご提案をする。
- ③外国人社員の採用・育成・登用や、日本人社員のアジアビジネスのマインド・センスを養成する研修などグローバル人材育成・人事制度改革のための共同調査やご提案をする。

関連論文・著書

- 1.『これからの日中韓経済学』(編著：岡山大/田口雅弘、多摩大/金美徳、えにし書房、2018年)
- 2.『なぜ韓国企業は世界で勝てるのかー新興国ビジネス最前線ー』(PHP 研究所、2012年、韓国語版2012年、電子書籍版2015年)
- 3.『日本企業没落の真実ー日本再浮上27の核心ー』(KADOKAWA、2012年、電子書籍版2014年)
- 4.『図解 韓国四大財閥』(KADOKAWA、2012年、台湾語版2013年、電子書籍版2015年)など著書18冊(共著含む)
5. 三井物産向け戦略レポート100本、論文・論考100本、講演100件、メディア出演など。

多摩大学 学長室

206-0022 東京都 多摩市聖ヶ丘4-1-1

TEL:042-337-7300 FAX:042-337-7103

E-Mail: hisho@gr.tama.ac.jp

URL: <http://www.tama.ac.jp/>



TAMA UNIVERSITY
多摩大学